

第22回 ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム

カーボンニュートラルに向けて、ヒートポンプ・蓄熱システムは更なる省エネルギー推進に重要な役割を果たしており、加えて再生可能エネルギーの活用推進においても有効な手立てといえます。

再生可能エネルギーの大量導入と主力電源化の実現には、使用する側において電気の使い方を「調整」していくことが求められ、ヒートポンプ・蓄熱システムはエネルギーを蓄える受け皿として、こうした「調整」に適したシステムです。再生可能エネルギーが余っている時間帯に貯めた熱を、必要な時間帯に使うことを可能とし、生産と消費のタイミングのずれを「調整」できるため、システム全体の高効率運転を実現しつつ、再生可能エネルギーの活用推進が可能となります。

当センターでは、ヒートポンプ・蓄熱システムに関する最新技術・事例や運転管理に関する情報を広く発信することにより、省エネや再エネの活用に関する理解促進を図るとともに、経営者・オーナー、設計者、施工者、施設管理者など運転管理に携わる方々の連携強化を目的に「第22回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」を開催いたします。

シンポジウムでは、特別講演の他、特に優秀な運転管理に係る改善事例の表彰・発表、ならびにヒートポンプ・蓄熱システムの今後の役割に関するパネルディスカッションを実施いたします。



7月24日(木) シンポジウム

シンポジウム

■ 特別講演

第7次エネルギー基本計画を踏まえた今後の 省エネルギー政策について

経済産業省 省エネルギー課長 木村 拓也 氏

■ パネルディスカッション

脱炭素・SXの潮流とヒートポンプビジネスの未来

～「回収年数」からの脱却、新たな価値創出へ～

気候変動の影響が顕在化し、実質的なCO₂削減が強く求められる今、ヒートポンプ・蓄熱システムは、その真価を発揮する時を迎えています。さらに「新たな価値の創出」や企業の「SX(Sustainability Transformation)の推進」、またそれを支える「グリーン人材の育成」が持続可能な成長の鍵と期待される中、ヒートポンプビジネスの未来について一緒に考え、ヒントを得る貴重な機会です。ぜひご参加ください。



コーディネーター 山川 智 氏

東海大学 建築都市学部建築学科 教授

20年以上、東京電力でヒートポンプ・蓄熱システムの研究と実務に取組み、2021年より現職
ASHRAE世界最優秀賞他受賞



パネリスト 角谷 浩 氏

株式会社三菱UFJ銀行 上席調査役

マーケティングコンサルタント。
株式会社電通でビジネス開発室長、カーボンニュートラルラボ代表を経て、現職、メディア出演歴多数



パネリスト 佐座 栞苗 氏

一般社団法人 SWITCH 代表理事

2021年 一般社団法人SWITCHを設立
Forbes JAPAN 30 UNDER 30に選出
日本学術会議連携会員(特任)
COP26・28・29日本政府団として参加

Agenda

1. 主旨説明
2. 脱炭素の国内外の最新動向 — 「回収年数」提案からの転換
3. 脱炭素の先へ — SX(Sustainability Transformation)への挑戦
4. 未来を創る — グリーン人材の育成

事前にご質問を募集します。申込フォームの「事前質問」欄にご記入ください。

日 時/2025年7月24日(木)

13:00 ~ 17:25 (12:30 受付開始)

会 場/国際ファッションセンタービル (3階 KFC Hall)

定 員/対面 100名(申込先着順)

Web 500名(申込先着順)

参加費/無料 プログラム/裏面を参照ください

※WEB参加の方には当日資料を配布いたしませんので、あらかじめご了承下さい。

交流会

日 時/2025年7月24日(木) 17:35 ~ 19:00

会 場/国際ファッションセンタービル(5階 第一ホテル両国 北斎)

定 員/30名(申込先着順)

参加費/5,000円(税込み)

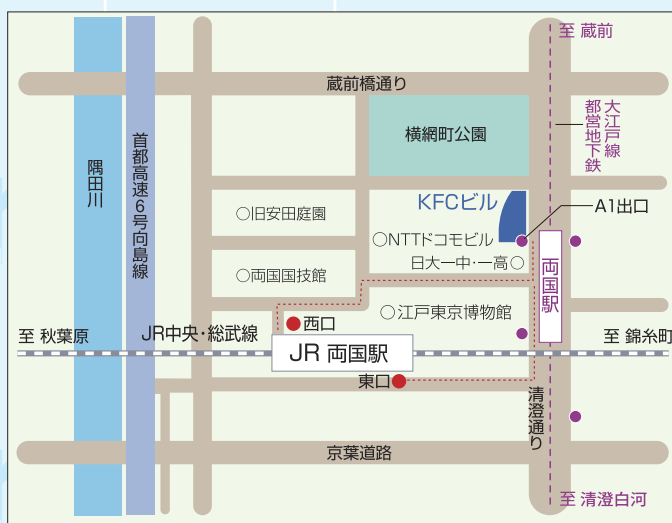
※立食形式での開催を予定しておりますが、状況により中止となる可能性がございますので、あらかじめご了承下さい。

シンポジウムプログラム

内容	時間	講演者・発表者・登壇者（予定）
主催者挨拶	13:00～13:10	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 専務理事
特別講演	13:10～14:20	経済産業省 省エネルギー課長 木村 拓也 氏
休憩	14:20～14:25	
受賞者紹介	14:25～14:30	改善事例表彰受賞者・デマンドサイドマネジメント表彰受賞者
優秀改善事例発表	14:30～15:30	改善事例表彰受賞者・デマンドサイドマネジメント表彰受賞者
休憩	15:30～15:40	
パネルディカッション 脱炭素・SXの潮流とヒート ポンプビジネスの未来	15:40～17:20	コーディネーター：山川 智 氏 東海大学 建築都市学部 建築学科 教授 パネリスト：角谷 浩 氏 株式会社三菱UFJ銀行 産業リサーチ&プロデュース部 企画グループ 上席調査役 佐座 楨苗 氏 一般社団法人SWITCH 代表理事

※講演者・発表者・登壇者および講演内容については、変更になる場合がございます。

会場 アクセス マップ



国際ファッションセンタービル
〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目6番1号
TEL.03-5610-5801
最寄駅:都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出口に直結
JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分・西口より徒歩約7分

7月25日(金) 施設見学会

日時／2025年7月25日(金) 10:00～12:00

会場／東京電機大学（東京千住キャンパス）
空気調和・衛生工学会特別賞十年賞受賞施設

定員／25名

参加費／2,000円(税込み 事務局経費)

※集合場所、集合時間は別途ご案内します。

※WEB参加の方は見学会に参加できません。また、見学会のみの参加もできません。

申込方法

7月11日(金)までに当財団ホームページの申込フォームからお申し込みください。
申込受付後、参加票を返信いたします。交流会、施設見学会ご参加者には請求書、
施設見学会に関するお知らせを別途、送付いたします。

※7月11日(金)前でも募集定員に達し次第、申込受付を終了させていただきます。

<https://business.form-mailer.jp/fms/e6bc14a8290011>



※WEB参加の方は、施設見学会へはご参加頂けません。また、当日資料を配布いたしませんのであらかじめご了承ください。
※状況により完全WEB開催へ変更、交流会・施設見学会を中止させていただく場合がございますが、あらかじめご了承ください。
※シンポジウム会場につきまして、空調設備の運転には注意してまいります。例年、冷房が強く効きすぎて寒く感じる場合がございます。上着など羽織るものをお持ちいただくことをお勧めします。

本セミナーは建築CPD運営会議が運営している建築CPD（継続能力／職能開発）情報提供制度の対象となります。

毎年、以下の省庁、団体様にご後援、協賛をいただいているシンポジウムとなります。 後援・協賛団体(参考:2024年度実績)

【後援】経済産業省、防衛省、警察庁、総務省、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省、
国立研究開発法人国立環境研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

【協賛】(一財)エネルギー総合工学研究所、(公社)空気調和・衛生工学会、(一財)建築環境・省エネルギー機構、(一社)建築設備技術者協会、(一社)建築設備総合協会、
(一財)建築保全センター、(一社)公共建築協会、(一社)住宅生産団体連合会、(一財)省エネルギーセンター、(公社)全国ビルメンテナンス協会、電気事業連合会、
(一社)電気設備学会、(一財)電力中央研究所、東京商工会議所、(一財)日本エネルギー経済研究所、(一社)日本エレクトロヒートセンター、(公財)日本環境協会、
(一社)日本機械学会、(一社)日本経済団体連合会、(一社)日本建設業連合会、(一社)日本建築学会、(一財)日本建築センター、日本商工会議所、(一財)日本消費者協会、
(公社)日本青年会議所、(一社)日本設備設計事務所協会連合会、(一財)日本地域開発センター、日本チェーンストア協会、(一社)日本電機工業会、(一社)日本電設工業協会、
(公社)日本都市計画学会、(一社)日本百貨店協会、(一社)日本病院会、(一社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会、(一社)日本ビルディング協会連合会、
(公社)日本ファシリティマネジメント協会、(公社)日本冷凍空調学会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、(一社)不動産協会、
(一社)文教施設協会、(一財)ベターリビング、(公社)ロングライフビル推進協会(五十音順)



一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム事務局 TEL: 03-5643-2403 <https://www.hptcj.or.jp/>
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-5 ヒューリック蛸殻町ビル6階

パネルディスカッション

脱炭素・SXの潮流とヒートポンプビジネスの未来 —「回収年数」からの脱却、新たな価値創出へ—

2024年、世界の気温が1.55℃上昇し、国内でも猛暑や豪雨、寒波、山火事など、気候危機が現実となっています。脱炭素化では、原材料や協力会社からのCO₂排出量を含む「SCOPE3」削減が急務となり、欧米では「グリーンウォッシュ」への批判が高まっています。

ヒートポンプ・蓄熱システムは、実質的なCO₂削減を可能にする技術として、今こそ脚光を浴びる時です。従来の「回収年数」に依存する提案から、「新たな価値創出」への転換、企業の「SX（Sustainability Transformation）の推進」、そして「グリーン人材育成」が、今後、市場で選ばれる鍵になると考えられます。ヒートポンプ技術の研究・実務に取り組む山川教授、脱炭素ビジネス・SXに精通した角谷氏、COPに日本政府団として参加している佐座氏と、ヒートポンプビジネスの未来について一緒に考え、未来を切り拓くヒントを得る貴重な機会です。ぜひご参加ください。



コーディネーター **山川 智 氏**

**東海大学 建築都市学部建築
学科 教授**

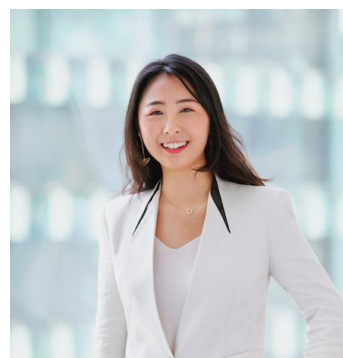
20年以上、東京電力でヒートポンプ・蓄熱システムによる省エネや再エネ熱・リサイクルエネルギー利用の研究と実務に取組み、2021年より現職
ASHRAE(米国暖房冷凍学会)世界最優秀賞、空気調和・衛生工学会賞、省エネ大賞、ヒートポンプ・蓄熱センター運転改善事例表彰他受賞



パネリスト **角谷 浩 氏**

**株式会社三菱UFJ銀行
上席調査役**

マーケティングコンサルタント。株式会社電通でビジネス開発室長、カーボンニュートラルラボ代表を経て、現職
日本マーケティング学会、環境経済・政策学会、社会デザイン学会会員
名古屋産業大学非常勤講師
NewsPicks認定エキスパート、講演、メディア出演歴多数



パネリスト **佐座 慎苗 氏**

**一般社団法人 SWITCH
代表理事**

Mock COP26 グローバルコーディネーターとして140カ国の若者に呼びかけ、COP26で環境教育サミットを開催
2021年 一般社団法人SWITCHを設立
Forbes JAPAN 30 UNDER 30に選出
2024年 日本学術会議連携会員(特任)に就任、COP26・COP28・COP29 日本政府団として参加

Agenda

1. 主旨説明
2. 脱炭素の国内外の最新動向 —「回収年数」提案からの転換
3. 脱炭素の先へ — SX（Sustainability Transformation）への挑戦
4. 未来を創る — グリーン人材の育成

事前にご質問を募集します。申込フォームの「事前質問」欄にご記入ください。